

令和5年度スクールバス運行事業について

白馬村教育委員会事務局教育課

【はじめに】

昨年度に引き続き、試験運行としてスクールバスの運行を行いました。夏と冬の運行を計画し、夏は7月に、冬は11月終わりから3月卒業式まで運行を実施しました。

学校、PTA役員及び保護者の皆様、停留所等の関係各位に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下、スクールバス事業の概要と今後の課題について項目ごとに記述し、令和6年度のスクールバス運行事業がより良いものになるように目指す手がかかりとしたいと思います。

【令和5年度運行事業について】

①運行期間について

7月3日から7月21日、及び11月29日から3月15日までの実登下校80日の運行をしました。昨年度に引き続き、7月の猛暑時期に試験運行を無事に行うことができました。

②対象学校

昨年度同様、白馬南小学校、白馬北小学校の児童を対象に実施しました。

白馬中学校の生徒を対象に、11月29日から3月15日までの間、登校時は既存路線を、下校時は部活動のない月曜日・水曜日を除いた日に限り白馬北小学校児童対象の運行を終了後、神城方面の部活動入部生徒を対象に乗車を認めました。

③対象児童

以下の地区の児童としました。

北 小	落倉、切久保、どんぐり、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方、通
南 小	めいてつ、飯森の一部、内山、【堀之内、三日市場：冬季のみ】
白馬中 (冬季のみ)	落倉、野平、嶺方 神城（下校時でJR運行のない時間帯のみ）

対象者は「白馬村遠距離通学費補助金交付要綱」を基本とし、通学距離を基準としました。昨年度冬季のみ乗車対象としました堀之内、三日市場地区については、今年度も通学路状況を考慮し冬季のみ運行対象としました。

今後も試験運行として事業を進める中で地区等からの要望が予想されますが、通学路の事情や車両の定員等も考慮し、判断することが必要と考えます。

④運行経路の設定

前述の対象児童・生徒から運行経路を設定し、使用車両も決定しました。

1号車	めいてつ、飯森、(内山) (三日市場、堀之内)	大型バス
2号車	落倉、切久保、どんぐり	マイクロバス
3号車	みそら野、エコーランド	大型バス
4号車	みそら野、神城	大型バス
5号車	和田野	タクシー
6号車	野平、通	タクシー
7号車	嶺方	タクシー
8号車	内山 (冬季のみ)	タクシー

⑤停留所の位置について

今回の路線に関する停留所は以下のとおりです。

1号車	・めいてつ交差点西側 ・五条通手前の中央通り ・内山農業倉庫前 ・三日市場公民館
2号車	・落倉 Backcountry 駐車場 ・切久保公民館 ・どんぐり交差点
3号車	・旧ハッピーベル東側の別荘前 ・ロータリー西側 ・おみやげのじゃじゃ駐車場 ・ペンション暖家
4号車	・オリンピック道路西砂利の土地 ・平川沿い空地 ・ペンション南十字星西側 ・飯森駅 ・神城駅 ・丸山館前 ・サンサンパーク ・白馬交通前
5号車	・咲花山荘入口
6号車	・野平旧精米所前 ・通橋東駐車場
7号車	・プチホテルバ・ブロー前
8号車	・内山公民館

学校での乗降場所

	夏 期	冬 期
1号車	白馬交通事務所前	
2号車	白馬北小体育館駐車場	白馬北小体育館駐車場、白馬中学校前
3号車	白馬北小体育館駐車場	白馬村役場駐車場
4号車	白馬北小体育館駐車場	白馬村役場駐車場（登校） 商工会横除雪基地前（下校） 白馬中学校前
5号車	白馬北小体育館駐車場	
6号車	白馬北小体育館駐車場	
7号車	白馬北小体育館駐車場	
8号車	白馬南小駐車場	

3号車及び4号車の登校時のみ、令和4年度に引き続き白馬村役場駐車場を利用できることになりました。

しかしながら、多くの車両が役場駐車場を利用する日時によっては、当初確保していた場所に停車できないこともありましたが、看板も設置しましたが、今後利用する場合はより広く周知できる方法を模索していくことが必要だと感じました。

⑥運行時間設定と乗車実績について

運行時間については、昨年度行ったアンケート意見や各地区等の需要にあった設定を行いました。各地区の需要のみだけでなく、各学校の勤務、出勤状況も考慮し今後も検討を進めていきます。

乗車の実績について、昨年度と比較すると全体的に乗車率が下がっています。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの陽性児童も複数報告されており、車内における感染症対策を行っていたが、利用しなかった家庭が複数あったことが乗車率低下の一因であると考えられます。

全体乗車実績（資料2 運行実績と乗車率参照）

運行実施月	7 月		11 月・12 月		1 月		2 月		3 月	
運行年度	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
登校乗車率 (%)	68.4	63.5	68.0	63.3	61.4	58.8	61.4	56.2	60.1	57.2
下校乗車率 (%)	54.2	56.5	59.3	54.3	51.6	52.7	53.7	49.7	52.2	53.8

【今後の課題と令和5年度事業】

前述の内容を踏まえて令和6年度事業の課題を列挙します。

- ・ 5年度事業を踏まえての運行経路と時刻表設定

- 一部路線の運行ルート効率化の検討
- 時間設定の再検討の必要について学校と保護者との協議
- 引き続き朝の課外活動との連携の検討

- ・ 恒常的なバス停の検討

- スクールバス停留所の周知方法
- 停留所までの通学の安全確保

- ・ 安定運行と通年運行の検討

- 冬期悪天候時における時間遅延の解消
- 乗車ニーズに合わせた通年運行の実施検討

- ・ 乗車ニーズの把握と対象児童拡大の可能性の検証

- PTA 組織等の立上げについて

令和2年度事業の中でもあったように保護者が主体の組織立上げについては、対象地区が少ない南小学校と、児童数が多く対象地区が多い北小学校では考え方に違いがあり、対象地区の保護者で考えれば良いと考えている南小学校と、PTA 組織の一部として検討した方がいいと考えている北小学校とがありました。各学校の事情を十分聴取した上で、両小学校において統一した組織を立上げる必要の有無についても検討します。

5年度は組織を立上げず、窓口の保護者の方には多大な協力をいただき、大変感謝申し上げます。

6年度以降については組織立上げの必要について、引き続き協議します。

以上のことを踏まえた令和6年度の事業に関してのポイントは以下のとおりです。

- ・ 猛暑時期を含めての運行を令和6年度でも実施する。

令和5年度事業で行った夏季における猛暑時期の運行を行い、前年度との比較ができるようにする。

- ・ 地域公共交通としても活用できる可能性を探る。

中学生の乗車や昼間の村内移動手段としての路線バス化などの要望も複数寄せられています。引き続き運行経路や時間などについて、公共交通担当課に情報を提供していきます。

- ・ 遠距離通学対策の施策（スクールバス・遠距離通学費補助等）を検証する。

令和4年度に比べ一部時期を除いて登校時、下校時共に乗車率は低下しています。費用対効果を考慮する上で、スクールバスの運行が最善であるか否かについて引き続き検討します。

また、乗車対象者の範囲設定についても引き続き検討します。

別添資料

- ・ 資料1 令和5年度スクールバス運行事業 委託先と委託料
- ・ 資料2 運行実績と乗車率
- ・ 資料3 令和5年度スクールバス試験運行アンケート 結果